



週報 第3071回

会長 中 透 副会長 上田 秀朗
幹事 杉本 憲一 SAA 瀧谷 達

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club



今週の例会(2020年6月12日)

■ プログラム

卓話担当 松内 暲郎 会員
「三十一年を振り返って」

■ 次週のプログラム

6月19日:「一年を振り返って」
会長、幹事、SAA

■ 今後の予定

6月26日:最終例会懇親会

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

今月の歌

■ 先週の例会

会長の時間

「VLP (Virus Like Particle) ワクチン」

今まで阪大で開発中のDNAプラスミドワクチンについてお話をしましたが、阪大には田辺三菱製薬が経営している阪大微研というワクチンメーカーがあります。



中 透 会長

インフルエンザワクチン他沢山の種類を作っています。その中で新型コロナウイルスにアプローチする方法として昆虫に感染する「バキュロウイルス」を利用して、この中に新型コロナウイルスの遺伝子の一部を組み込みました。

バキュロウイルスに新型コロナウイルスの殻とスパイクと呼ばれるタンパク質を作らせてワクチンの材料にします。見かけが新型コロナウイルスにそっくりなVLP(ウイルス様粒子)を作りワクチンにする戦略です。

VLPを体内に入れば、外敵から守る免疫反応でウイルスを無力化する抗体が出来ることが期待される。VLPはウイルスと違って活性を持たないので安全に免疫を付けることが出来る。

VLPワクチンはすでにインフルエンザや子宮頸がんのワクチンとして実用化している。

田辺三菱製薬ではカナダの子会社でも植物由来のVLPを使用し、ワクチン化して治験段階に来て

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3071回

いるとのこと。阪大微研では従来のワクチンと同様の不活化したワクチンも開発中で、これは少し時間はかかります。

このように大阪大学では三つの方法でワクチン作りが同時進行しており、東京大学でも別の方法で作成中です。

期待を持って見守りましょう。

幹事報告 杉本 憲一 幹事

○6月12日・19日(金)もこの場所で午後1時からです

○6月26日(金)の最終例会については、本日、理事役員会がありますが、三幸苑で午後7時30分から行います。ご案内はFAXさせていただきますが、泉大津駅東口ロータリーから送迎バスで午後7時5分に出発致します。

○本日例会終了後、新旧理事役員会を開催します

委員会報告

なし

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数42名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
6/5	32名	10名	—	76.19%
5/22	30名	12名	6名	85.71%

■ メークアップ

榎本(5/29 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
藤野、原(正)、今井(5/15 理事役員会)
丹農(5/26 高石RC)
外山(5/28 和泉南RC)

■ ニコニコ箱

- ・クラブアッセンブリーよろしくお願ひします(中)
- ・本日、アッセンブリーよろしくお願ひします(杉本)
- ・各理事の皆さん、アッセンブリーお願ひします(瀧谷)
- ・欠席続きですみません。理事会欠席のおわび(高寺)
- ・欠席のおわび(松内)
- ・欠席のお詫び(丹農)

ニコニコ箱合計	14,000円
累計	594,000円

先週のプログラム 「クラブアッセンブリー」



今回の新型コロナウイルス感染症により、クラブ奉仕の各委員会活動に於きまして、非常に大きな影響を受けております。

(後期活動内容)

親睦活動委員会

・今井委員長を中心として毎月一回委員会を開催しておりましたが、三月以降は、新型コロナウイルスの影響により、開催できませんでした。

・家族例会 担当 令和2年4月19日 劇団四季[リトルマーメイド]観劇懇親会レストラン(イルピノーロ梅田) ハービスエント7F

新型コロナウイルスの自粛により中止

・第2回目のゴルフコンペ開催 令和2年6月7日(日) 予定 紀伊高原ゴルフクラブ

会員増強・クラブ研修委員会

・会員増強について

吉本佳子さん 令和2年1月より入会

現在 細川嘉則さんの会員候補被推薦者指名を回覧する。

・家庭集会について
4月17日に開催
新型コロナウイルスの自粛により中止

会報・IT委員会

・週報に関しては、約一ヶ月半の休会により、その間週報はありません。

・クラブ内情報共有に関して、LINEによるネットワークを引き続き進めてきました。

「これからの新しい生活様式」として、三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つためにも、SNS、ウェブを使う事が大切ではないでしょうか。

最後に、コロナウイルスにより後期の事業は、中止最大の影響がありました。担当の皆様にはご苦勞頂き、又メンバーの皆様には残念なところがあったと思いますが、一年間御協力有り難うございました。



職業奉仕部門理事 小門 茂樹

2019~2020 職業奉仕部門の活動は2020年5月頃に、自動車オートオークション会場の見学を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルス禍により非常に残念ながら中止となりました。

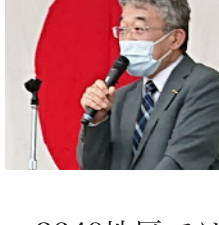
本来なら見学予定でした泉大津のオートオークション会場は日本市場だけでなく、海外貿易の拠点港にもなっており、海外のバイヤーも多く参加してもらい、通常自動車の走行距離や年式によりおおよその価格が決まってしまう現状の中、海外では古い車種でも人気が高い車種や、海外では日本車が高額すぎるという事で、古い車種でも高く売られている部分があり、他の通常のオークション会場とは少し違うところも多く、より世界とのつながりを感じる事の出来る会場だったので楽しみにしておりましたが非常に残念です。

ロータリー会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために応えることが望まれる。とあります。

予定では自動車の流通を感じて頂きご自身の職業に少しでも役立つ何かを感じて貰えると考えておりましたが、お役に立てる事が出来なく残念で

す。

一日でも早く新型コロナウイルスの終息を願ひクラブの再開出来る事を切に願ひます。



社会奉仕部門理事 川端 徹

2640地区では社会奉仕部門は社会奉仕委員会と青少年・RYLA委員会が統合されています。社会奉仕委員会は寺田副委員長、外山委員、榎本委員と私の4名で、青少年・RYLA委員会は櫻井委員長、西田副委員長、村田委員の3名で構成されています。

2019-2020年度スタート時の活動基本方針としては、1)1年間の単年度奉仕活動と2年~5年程度の中・長期を目標とする奉仕活動に視点。2)地域のニーズを的確にとらえ、当クラブ会員が全員参加で地域社会に奉仕できるように、立案と計画を行い実践する。3)青少年に夢と希望を与え、将来の地域のリーダーシップとなる人材、国際社会で活躍される人材を育成できるように奉仕活動を行う。4)認知症対策支援の4項目を挙げさせていただきました。

活動報告としては、

①2019年7月、短期交換派遣留学生として、オランダからリアナ様を迎え、真栄平 結華様と一緒に当日会にもお越ししました。青少年・RYLA委員会の櫻井様、西田様には空港出国時や高山山研修時の送迎や接待を行っていただきました。

②献血活動奉仕としては、8月12日お盆の酷暑の中、南大阪聖書教会での泉大津フェスタの献血に、当クラブは後援し、会員の皆様から多くのお礼品の提供を頂きました。5名の会員に応援していただきました。献血受付数45名(37名実施、献血率82%)でした。また、2020年1月27日(月)泉大津市役所で行われた、泉大津市献血推進協議会主催の献血に当クラブが共催しました。共催が理事会で決定後、わずか2週間で、多くの会員に御協力いただき、お礼品をご提供いただきました。また当日は13名の会員に応援していただきました。献血受付数53名(実施42名、献血率79%)

③認知症支援活動の一環として、昨年、9月23日

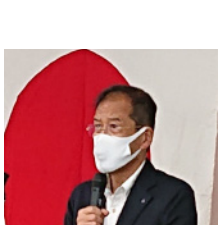
IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3071回

(祝日)テクスピア大阪小ホールで、「だんじり祭り(祝日)認知症支援」として特別講演に川崎製鉄(JFEスチール)副社長として務められた、若林公平氏に「だんじりそして地車」～だんじりの起源に迫る～をお願いし、一部で認知症サポーター養成講座を行いました。この講演会は泉大津は元より泉州地域から多くの方が来られ大変好評でした。1部と2部の特別講演を合わせて、81名の方が参加されました。一部の認知症サポーター養成講座で、新たに44名の認知症サポーターが誕生いたしました。J-com、や産経新聞社が取材に来ていただき、また東京から朝日新聞社の認知症啓発サイト「なかま東」の専属カメラマンのコスガ聡一様が、取材にきてくれました。当ロータリークラブで後援していただき有難うございました。

④環境保全の一環として当クラブが毎年活動に参加している港湾美化清掃は、本年度は新型コロナ禍の影響で中止となりました。

⑤その他、中〜長期目標としては、社会問題となっている空き家問題への支援、それから地域で青少年活動の場を提供し支援をということで、弁論大会を行うことを提言させていただきました。いずれの企画も新型コロナウイルスの感染拡大のため、中途で止まってしまいました。中長期の目標のため、引き続き次期、社会奉仕担当理事の寺田様に引き継いでいただきたいです。

このコロナ禍でも、ロータリークラブとして何か社会奉仕活動ができないものかとの、思いがありました。結局、現実的に実行できるような、いい案は私の頭には浮かびませんでした。有難い時に、ロータリークラブとしてどのように地域社会に向けて奉仕活動を行うのか、今後の課題と考えております。以上、社会奉仕部門のクラブアッセンブリーでした。有難うございました。



国際奉仕部門理事 高寺 壽

今年度の国際奉仕部門は、
① ロータリー財団(森口和信委員長)
② 米山記念奨学金(金野典子委員長)、
③ グローバル基金財務(白谷喜世彦委員長)の3つの委員会からなります。

近年、活動が停滞気味の国際奉仕部門で、手っ取り早い活動は国際大会の参加だと思いましたが、ハワイでのホノルル大会はコロナウイルス感染症のため、中止されました。来年の台北、再来年のアメリカのヒューストンぐらゐまでは、大会の開催が難しいと思います。

グローバル基金からロータリー財団、米山奨学会に、今年度の寄付金額等も昨年同様に拠出する予定です。米山6,000円(執行済み)、財団に14,000円(6月末までに執行予定)。

今年度は、当クラブで初めてとなるグローバル奨学生の該当者(神戸大の岸田さん)がいましたが、コロナウイルス感染症のため、受け入れの留学先が中々決まらず年度を超えての活動となります。当初のスイスから、オランダへ変更中ですが、次年度再申請となりそうです。白谷エレクト様はじめ、次年度の役員様よろしくお願ひします。

年々活動が低調になっていく国際奉仕部門ですが、特にこのコロナウイルス感染症が収まるまでは、寄付金以外は活動停止状態となりそうです。